

## 経歴

氏名： 蔵本 暢浩 (くらもと のぶひろ)

出身地：徳島県、 生年月日： 昭和18年2月15日

(学歴・職歴)

- 昭和41年3月 大阪工業大学工学部応用化学科卒業  
43年3月 大阪工業大学大学院修士課程応用化学専攻修了  
44年4月 大阪府立工業奨励館(現 大阪府立産業技術総合研究所) 化学部入所  
49年4月 大阪府立大学工学部応用化学科国内留学(昭和50年3月まで)  
53年4月 大阪府立工業技術研究所(現 同上) 化学部有機化学研究室長  
55年10月 工学博士(大阪府立大学) 工第300号  
57年4月 大阪工業大学工学部非常勤講師兼務(有機化学Ⅱ)「平成15.3まで」  
平成5年9月 中国、上海華東師範大学 客員教員兼務(色素化学)「平成5.9末まで」  
11年6月 大阪府立産業技術総合研究所材料技術部マネージャー  
14年3月 大阪府立産業技術総合研究所 退職  
14年4月 四国大学生生活科学部生活科学科 教授  
18年4月 四国大学大学院人間生活科学研究科教授(特別研究Ⅰ)  
24年3月 四国大学退職  
24年4月 四国大学生生活科学部 非常勤講師 「現在に至る」

(油化学会活動)

- 昭和 年4月 日本油化学会関西支部常任幹事  
平成11年4月 日本油化学会理事、関西支部副支部長(常任幹事長) 「平成13.3まで」  
14年4月 日本油化学会関西支部幹事 「現在に至る」

(他の所属学会)

日本化学会、色材協会、日本色彩学会、日本家政学会、日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会

## 研究業績

(著書)

- 1)N.Kuramoto: The Photodegradation of Synthetic Colourants in 'Advances in Color Chemistry Series', Vol.4, A.T.Peters and H.S.Freeman Edn., Blackie Academic & Professional, London, p.196-253 (1996)
  - 2)共著：色材・顔料・色素の設計と開発(発色・着色メカニズムから各種応用製品)、情報機構編、p.187-194 担当(総頁520)、(2008)
- (研究論文)
- 3)蔵本暢浩、若江匡夫：芳香族第1アミンからメチルフェニルエーテル類の合成、有機合成化誌、Vol.32, 118-123 (1974)

- 4) 蔵本暢浩、北尾悌次郎：1-アリールアゾ-2-ナフトール系染料の溶液中における光退色、  
日化誌、p.258-263 (1977)
- 5) N.Kuramoto and T.Kitao, Photochemical Oxidation of Quinophthalone Dye,  
*J.Chem.Soc.Chem.Comm.*, 1979, 379-380
- 6) N.Kuramoto and T.Kitao, Oxidation by Singlet Oxygen of 2-(2-quinoly)indane-1,3-  
dione, *J.Chem.Soc.Perkin II*, 1980, 1569-1572
- 7) N.Kuramoto and T.Kitao, Contribution of Singlet Oxygen to the Photofading of Some  
Dyes, *J.Soc.Dyers and Colour.*, Vol.98, 334-340 (1982)
- 8) N.Kuramoto, Improvement in the Light fastness of Dyed and Pigmented Materials  
(Part 2) Effect of Singlet Oxygen Quenchers on the Photostabilisation of Organic  
Pigments in Some Coating Films, *Dyes and Pigments*, Vol. 9, 319-327 (1988)
- 9) Resonance Raman Study of Langmuir-Blodgett Films of 2-(4'-dioctadecylamino-  
phenylazo)-N-ethylbenzothiazolium perchlorate, Katayama, Y.Ozaki and N.Kuramoto,  
*Chem.Phys.Lett.*, 179, 227-231 (1991)
- 10) N.Kuramoto and M.Dan, Aggregation Control by Vapour and Heat Treatments in  
Langmuir-Blodgett Films of Amphiphilic Hetroarylazo Dyes, *J.Material Chem.*, 8,  
1195-1200 (1994)
- 11) 蔵本暢浩、国原寛子：天然色素の耐光堅ろう度改善に関する研究（第1報）カルタミン  
（紅花赤色素）の精製とその保存安定性の改良、四国大学紀要自然科学編 B, 21, (2004)
- 12) 蔵本暢浩、佐藤愛：LED 光による天然色素の繊維上での光化学変化；古染織布の色彩に  
及ぼす LED 照明光の影響、四国大学紀要自然科学編 B, Vol.33, p.13-19 (2011)

(専門分野)

染料、染色、染色助剤、機能性色素、繊維、コロイド科学

(受賞歴)

昭和 58 年 近畿化学会 化学技術賞、

平成 6 年 近畿通産局長賞 受賞

現住所

徳島県小松島市

[nkuramoto@e-awa.net](mailto:nkuramoto@e-awa.net)